

電気自動車によるモーダルシフトの可能性に関する研究

| | | |
|----------|-----------------|--------------------|
| 豊橋技術科学大学 | 工学部建築・都市システム学課程 | 木根田 好 [*] |
| 豊橋技術科学大学 | 建築・都市システム学系 准教授 | 洪澤 博幸 |
| 豊橋技術科学大学 | 建築・都市システム学系 教授 | 宮田 譲 |

電気自動車は、走行時においてCO₂や排ガスを排出しないことから、政府・メーカーともに普及に向けた前向きな取り組みがすすめられている。電気自動車は、ガソリン車に比べると、航続可能距離が短く、充電時間に時間を要することから、一般的に、都市内の移動手段に適している。

このような電気自動車のもつ技術的な制約を解決するひとつの方法として、フェリーを利用した都市間の移動が考えられる。フェリーは、既存の都市間の交通手段として利用されているが、電気自動車の普及により、フェリーによる都市間移動がどのような影響を受けるのかを検討する。

本稿では、電気乗用車と電気トラックによる陸上輸送から海上輸送へのモーダルシフトの可能性と環境への影響について検討する。電気乗用車と電気トラックの場合を比較しながら、モーダルシフトと環境への影響を明らかにする。